

**首都大学東京 都市環境学部 自然・文化ツーリズムコースに
前観光庁長官を教授採用**

本学は、平成20年度から自然・文化ツーリズムコース並びに大学院観光科学域（博士前期課程）を立ち上げ、平成22年度からは大学院に博士後期課程も開設し、東京都の観光施策への取組の重点化を背景に、観光学分野の教育研究を重点的な分野として位置づけています。

このたび、平成22年4月1日付で、都市環境学部(自然・文化ツーリズムコース)の教授に、都市観光によるまちづくりの研究者として高い専門性を持つ前観光庁長官の本保芳明氏を採用することとなりましたので、お知らせします。

本保氏は、長年にわたり、国家公務員として観光施策に携わるとともに、国全体として観光立国の実現に取り組むため平成20年に観光庁が創設された際に初代観光庁長官として就任し、数多くの施策を進めるなど、観光行政のトップを務めた豊かな実務実績があります。その経験を教育研究に十分活かしていただくことで、本学の観光学の一層の充実を図ります。

【本保 芳明氏 略歴】



東京工業大学大学院社会工学研究科修士課程修了

’74年4月運輸省入省、’83年4月国際観光振興機構（JNTO）ジュネーブ事務所出向、’97年7月運輸省運輸政策局観光部企画課長、’07年7月国土交通省大臣官房総合観光政策審議官、’08年10月から’10年1月観光庁長官。60歳。

【自然・文化ツーリズムコース】

観光の現場で最も不足している観光計画の企画立案や地域全体の価値を高めるための総合的なマネジメントを行うことができる観光のリーダー、レンジャー等の自然環境の保護・適正利用を担う先導的・実践的人材を育成します。従来の観光学に、地理学・生態学などの理学的方法や都市計画・歴史的遺産の保存や活用などの都市工学の方法、また、観光地のデータベース作成や情報発信などの情報学的手法を導入した、全く新しい「観光科学」を学ぶコースです。

問い合わせ先

公立大学法人首都大学東京

経営企画室広報・連絡先（直通 03-5320-7080）